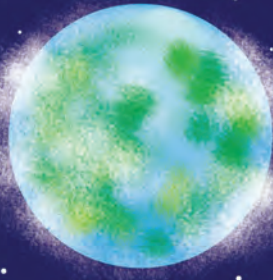


杉並区政レポート

惑星



杉並区議会議員 脇坂たつや

●事務所(自宅)
〒166-0004 杉並区阿佐谷南3-27-10
TEL. & FAX.3391-7717
●区議会控室
〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1
TEL.3312-2111(内線2307)

ブログ



発行日 2012.11 vol.7



★平成23年度決算を認定しました！

9月・10月に行われた第3回定例会にて平成23年度決算の審査を行い、一般会計・国民健康保険事業会計・介護保険事業会計・後期高齢者医療事業会計の全てを認定致しました。当該年度予算は東日本大震災が発生する直前に成立したものです。「質の高い住宅都市『杉並』」向けスタートする予算」と題していましたが、基本構想や総合計画といった区政運営の要となる最上位の計画が策定されていない中で、言わば端境期での区政運営となりました。私自身は杉並区議会自由民主党を代表して、賛成理由を述べる大役を務めさせて頂きました。以下、意見開陳の要点となります。

認定理由

- 東日本大震災後の区民意識の変化をしっかりと捉え、予備費のうち5割を震災関連に充当し、また数度の補正予算を編成することで、区の防災対策を中心に講じました。このような緊急の対応や重点課題に充てられており、柔軟且つ迅速な施策を取ったことを評価致しました。
- 財政指標から財政状況を見た結果、一般会計について財政の健全性を確認することが出来ました。また、特別会計についても、いずれも実質収支が黒字となり、収納率の向上と収入未済額の減少を評価致しました。
- 当該年度の具体的な区の施策を評価致しました。今後10年間の目標である基本構想と総合計画、実行計画の策定が完了したことは重要です。また、自治体間同士の連携によって始めた自治体スクラム支援は、災害時相互援助協定を結んでいる、被災された福島県南相馬市を水平的に支援し、基礎自治体が災害救助の主体となり得るということを世間に示すことが出来ました。また、支援を必要とする高齢者を早期に発見し、適切なサービス等に繋げることを目的とした「高齢者安心おたっしや訪問事業」は、無縁社会と呼ばれる中での孤立死を防ぐ大きな役割を果たしています。昨年夏の高齢者行方不明事件を受けて始めたものでしたが、時宜を捉えた有効な施策でした。その他にも保育所の整備や予防接種事業の拡大、歯科保健医療センターの移転改修、教育ビジョン2012の策定等、適宜適切な事業の展開を行いました。これらの点を、杉並区という一基礎自治体の有効な取り組みとして評価をした次第です。

今後の要望

- 近年、悲しいことに取って代わる道を選ばない人達が増えています。頑張る人こそ報われ、努力する機会とその能力に恵まれない人を皆で支え、行政はその条件整備に力を注ぐことが大切です。区職員も同様に、よりストイックな気持ちで区政運営に臨んで頂くことを要望しました。
- 基本構想と総合計画については、計画の進捗管理も当然のことながら、その裏付けとして多額の財源を要することになります。経済状況が急に好転することは考えにくく、基金への積み立てや経常収支比率の改善等、明確な意図を持ちながら取り組んだ結果を示して頂きたいと思います。また、基本構想においては防災対策を一番に取り上げたことを評価しました。それにも関わらず区民の災害への意識が醸成されていない点には危機感すら覚えています。大震災は必ずやってくるという区の認識は正しいものですが、それはこの後すぐ起こるかもしれないということを改めて念頭に置いた上で啓蒙するよう要望しました。
- 杉並区行政経営懇談会が設置されました。基本構想の実現に向け、持続可能な行財政運営の在り方について、専門的な知見に基づいた幅広い意見を受ける為の会議です。テーマとして、財政運営・施設再編整備・新たな協働・現役世代への支援といった内容は妥当と言えます。既に基金の積み立て目標を掲げたこと等の成果も上げていますので、引き続きの取り組みを要望致しました。特に現役世代や若者世代への就労支援に関しましては、厳しい雇用情勢ではありますが、求職者が生活の為だけでなく、夢や生きがいに向かって働くことが出来るように、細やかなフォローをお願いしました。





★第2回定例会で一般質問を行いました！

6月の第2回定例会にて一般質問をしました。今回は大きく3つのテーマ、①**施設再編整備**②**生活保護**③**教育ビジョン2012**についての質問となりました。

①施設再編整備

高度経済成長期に建てた区立施設も老朽化が進み、建て替えや改修費用に今後30年間で2800億円もの費用が掛かるとの試算が出ています。区の年間予算は1500億円ですから、その額の多さがお分かりになるでしょう。区は基本構想の中で、この金額を削減していく為に、区立施設の再編整備を明言し、その計画を策定する予定です。私も、今後の社会情勢や経済状況を考えた上で、再編整備は必要だと考えています。ただ、施設には少なからず利用者がいる中で、区民生活の影響を考えると、型に嵌める様な拙速な議論は慎むべきです。また、中長期的に地域に与える経済効果や区民の利便性の向上といったまちづくりの要素も勘案して検討を進めて頂きたいと思います。区もその点については理解を示し、慎重に検討していく旨の答弁を頂くことが出来ました。

②生活保護

連日マスコミ報道もされましたし、杉並区内の実態を確認しました。合わせて、医療扶助の割合が最も高いことから、生活保護に限り、区としてもジェネリック医薬品の使用促進に力を入れていく

べきだと提言しました。答弁も、区長本人から医師会や薬剤師会の理解と協力を取り付け、受給者本人にもしっかりと説明した上で、早期に取り組んでいくとのことでした。早速、区はパンフレットを作成して周知に努めています。



③教育ビジョン2012について

教育ビジョン2012は「今後10年を見据えた杉並の目指す教育」と「目指す人間像」を掲げると共に、目標達成に向けた取り組みの視点と方向を示すものとして、今年の3月に策定された計画です。冒頭、前文の中には「東日本大震災を契機に、誰もが命の尊さや思いやり、助け合いの大切さを痛感し、同時にその基となる教育の重要性に改めて気付いた」とありますが、まさにその通りです。個ばかりを伸ばすのではなく、国家観や社会性にも目を向けた教育を行ってほしいと要望致しました。



★杉並区政施行80周年を迎えました！

～ 80年の歩み つなげよう、未来へ～

この度杉並区は区政施行80周年を迎えることが出来ました。これもひとえに区民の皆様のお陰と感謝申し上げます。先人達が築きあげてこられた街並や文化や絆を、そして受け継がれてきた自然やみどりをしっかりと守り、新たに発展させ、次の世代へと繋いでいくことが私達区民の使命だと

思っています。私も杉並区議会議員として今後も皆様の言葉に耳を傾けながら、安心・安全で住み良い杉並区の為に尽くしてまいります。



脇坂たつやプロフィール

- ☆杉並生まれ杉並育ちの現職最年少 30歳
- ☆早稲田大学政治経済学部経済学科卒業（杉並稲門会会員）
- ☆民間企業にてサラリーマンとして5年間勤務後、自由民主党杉並総支部の公募に合格し、2010年7月、杉並区議会議員に初当選
- ☆2011年4月、杉並区議会議員選挙にて2度目の当選
- ☆総務財政委員会委員及び清掃・エネルギー対策特別委員会委員長
- ☆自由民主党杉並総支部 事務局長
- ☆杉並区議会自由民主党 政務調査会長
- ☆杉並消防団第6分団団員
- ☆公益社団法人東京青年会議所杉並区委員会 書記幹事

